

株主の皆様へ

第104期中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日



代表取締役社長  
武田 安夫

## Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
セグメント情報	4
連結財務諸表	5
トピックス	7
会社・株式情報	9

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第104期第2四半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の営業の概況等を報告申し上げます。

## 営業の概況

当第2四半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景として、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。企業の業況感は、一部にやや慎重な動きがみられました。また、海外経済は、中国および新興国の一部に弱い動きがみられました。

特殊鋼業界におきましては、主要な向け先である自動車業界や建設機械業界の生産減や在庫調整などにより、前年同期に比べ、需要は低い水準で推移しました。

このような中、当社グループの当第2四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べ減少したことや

(注)本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比57億90百万円減の788億57百万円となりました。経常利益につきましては、販売数量は減少したものの、原燃料価格の低下、減価償却費の減少やコストダウンの実施などにより、前年同期比29億23百万円増の61億93百万円となり、ROS(売上高経常利益率)は7.9%(前年同期は3.9%)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比14億2百万円増の39億40百万円となりました。

なお、当第2四半期末を基準日とする剰余金の配当(中間配当)につきましては、利益配分に関する基本方針に則り、1株当たり6円とさせていただくことといたしました。

## 今後の見通し

今後につきましては、わが国の景気が緩やかに回復していくことが期待される一方で、新興国経済の減速影響、特殊鋼業界における国際競争の激化や主要需要業界における在庫調整の長期化などもあ

り、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

以上を総合的に勘案し、平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年4月30日に公表させていただいた数値を据えおくことといたします。

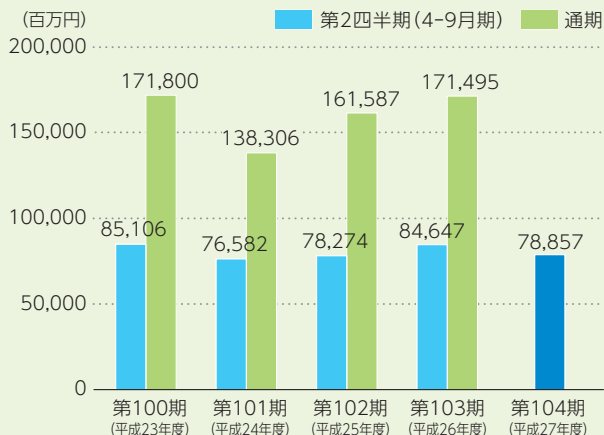
また、当期末を基準日とする剰余金の配当(期末配当)につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、期間業績に応じた配当を実施してまいりますが、現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

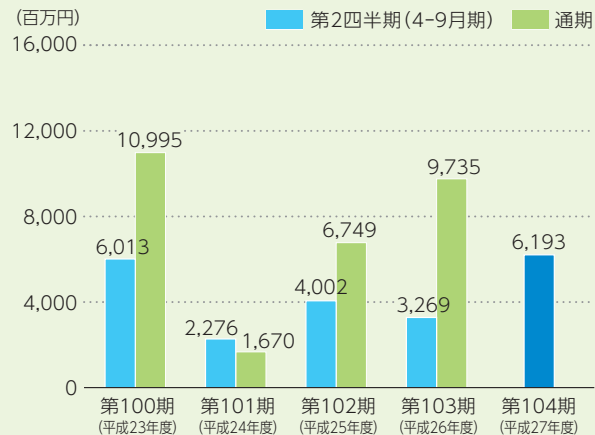
平成27年11月

# 業績ハイライト

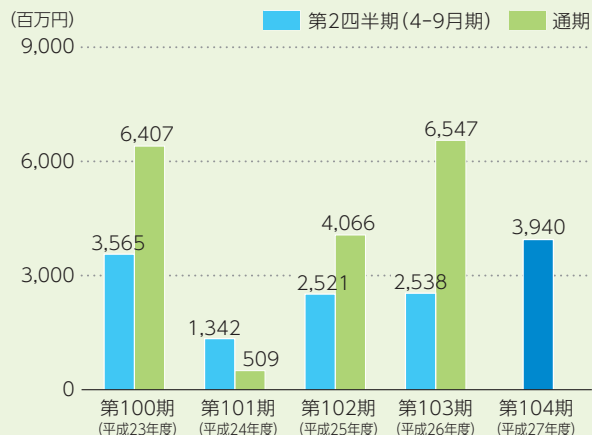
## ○連結売上高



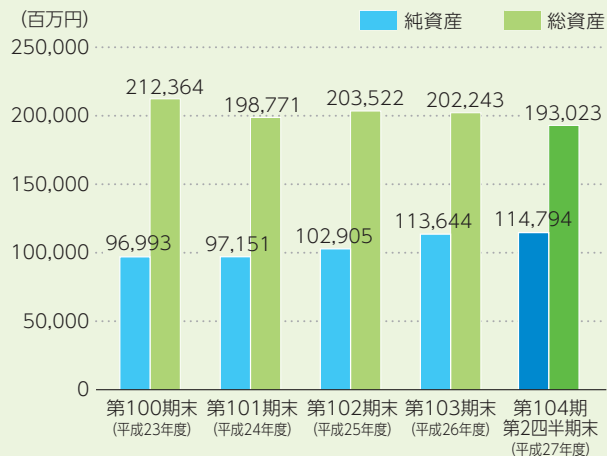
## ○連結経常利益



## ○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## ○連結総資産・純資産



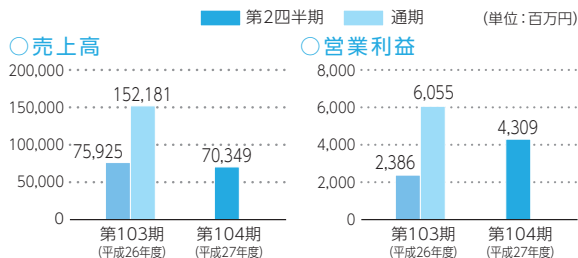
※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当期より「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

# セグメント情報

## 鋼材事業

売上高 **703億49**百万円  
営業利益 **43億9**百万円

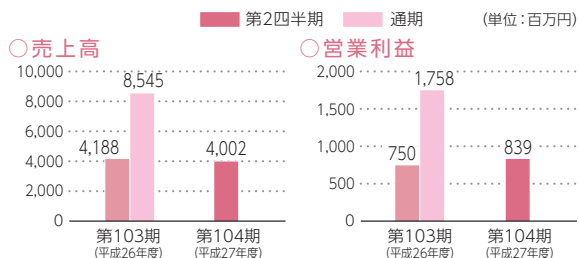
当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比55億76百万円減の703億49百万円となりました。営業利益は、販売数量は減少したものの、原燃料価格の低下、減価償却費の減少やコストダウンの実施などにより、前年同期比19億23百万円増の43億9百万円となりました。



## 特殊材事業

売上高 **40億2**百万円  
営業利益 **8億39**百万円

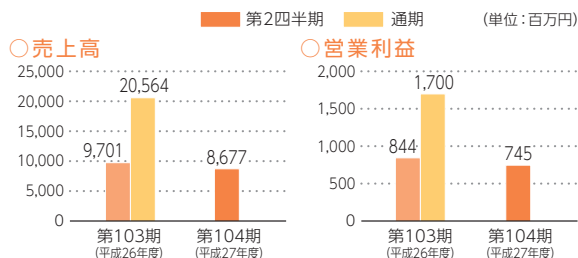
当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比1億86百万円減の40億2百万円、営業利益は、販売数量は減少したものの、円安等の効果により、前年同期比88百万円増の8億39百万円となりました。



## 素形材事業

売上高 **86億77**百万円  
営業利益 **7億45**百万円

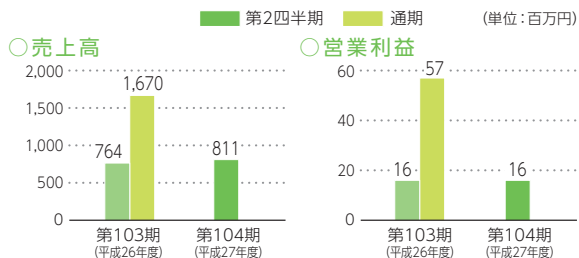
当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ減少したことなどにより、売上高は前年同期比10億23百万円減の86億77百万円、営業利益は前年同期比98百万円減の7億45百万円となりました。



## その他

売上高 **8億11**百万円  
営業利益 **16**百万円

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比46百万円増の8億11百万円、営業利益は前年同期比0百万円増の16百万円となりました。



※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	114,455
固定資産	78,567
<b>資産合計</b>	<b>193,023</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	57,696
固定負債	20,532
<b>負債合計</b>	<b>78,228</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	107,933
その他の包括利益累計額	5,978
非支配株主持分	882
<b>純資産合計</b>	<b>114,794</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>193,023</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>78,857</b>
売上原価	66,324
<b>売上総利益</b>	<b>12,533</b>
販売費及び一般管理費	6,332
<b>営業利益</b>	<b>6,201</b>
営業外収益	535
営業外費用	544
<b>経常利益</b>	<b>6,193</b>
特別利益	0
特別損失	188
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>6,005</b>
法人税等合計	2,038
<b>四半期純利益</b>	<b>3,966</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	26
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>3,940</b>

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>四半期純利益</b>	<b>3,966</b>
<b>その他の包括利益</b>	
その他有価証券評価差額金	△ 1,763
為替換算調整勘定	108
退職給付に係る調整額	△ 62
持分法適用会社に対する持分相当額	45
その他の包括利益合計	△ 1,671
<b>四半期包括利益</b>	<b>2,295</b>

### 内訳

親会社株主に係る四半期包括利益	2,259
非支配株主に係る四半期包括利益	36

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	40
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	248
現金及び現金同等物の期首残高	19,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,575

## 最新鋭 第2粉末工場新設を決定

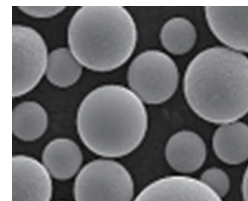
～金属粉末の市場拡大と高純度化ニーズに対応し、新市場を創生～

当社は、モノづくりに変革をもたらす可能性のある3Dプリンター等による金属粉末の市場拡大、ならびに電子部品分野を中心に高まっている高信頼性・高純度化のニーズに対応するとともに、金属粉末事業の新市場創生に向けて、本社工場内にクリーン度の高い第2粉末工場を建設することを決定いたしました。

第2粉末工場には、高純度真空溶解ガスアトマイザーを2基導入するとともに、最新鋭のディスクアトマイザーを1基導入して高融点材料の高真球粉末の製造研究・用途開発も進め、金属粉末事業の成長と技術先進性の一層の拡大に向けた取り組みを推進してまいります。



第2粉末工場のイメージ図



高真球金属粉末  
(電子顕微鏡写真)



3Dプリンターによる金属粉末の造形例  
今後市場拡大が見込まれる3Dプリンターの分野にも、当社の金属粉末の活躍が期待されています。

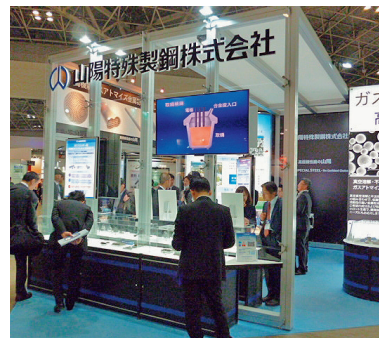


## 最先端金属技術が結集する展示会に出展

～特殊材事業が展開する高機能材料をPR～

当社は、平成27年4月に東京ビッグサイトで開催された「高機能金属展」、ならびに平成27年10月にインテックス大阪で開催された「関西 高機能金属展」に、特殊材事業で展開する金属粉末や耐熱・耐食合金をはじめとする高機能材料の数々を出展しました。

当社が出展したブースには、両展示会を合わせて二千名近くの来場者が訪れ、当社の高機能材料への関心の高さが伺われました。当社は、これからも、特殊材事業が展開する高機能材料を積極的にPRし、特殊材事業の業容拡大に向けた取り組みを推進してまいります。



展示会に出展した当社ブース  
多方面の関係者から高い関心を受けました。

## タイ素形材子会社の工場建屋が完成

～素形材事業の拡大と成長市場におけるサプライチェーン早期確立に向けた取り組みを推進～

当社は、タイにおいて素形材製品の製造・販売を行う子会社（Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.）の事業開始に向けた準備を進めておりますが、このほど工場建屋が完成しました。現在、機械設備の導入を進めており、平成27年内には商業生産を開始する予定です。

同社は、市場の伸長が期待される東アジア地域においてベアリング用旋削リングの製造・販売を行う現地法人として設立したものです。当社は、素形材事業の拡大と成長市場におけるサプライチェーンの早期確立に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。



Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.  
の工場建屋

## 会社概要

平成27年9月30日現在

社 名	山陽特殊製鋼株式会社
英 文 社 名	Sanyo Special Steel Co., Ltd.
設 立	昭和10年1月
資 本 金	20,182百万円
事 業 内 容	鋼材事業、特殊材事業、素形材事業、その他
本 社 ・ 工 場	姫路市飾磨区中島3007番地(〒672-8677) ☎(079)235-6003(総務部)
支社・支店・営業所	東京支社、大阪支店、名古屋支店、広島支店、九州営業所
従 業 員 数	連結2,668名、単体1,341名(就業人員)
ホームページアドレス	<a href="http://www.sanyo-steel.co.jp/">http://www.sanyo-steel.co.jp/</a>

## 役 員

平成27年9月30日現在

代表取締役社長	武 田 安 夫	取 締 役	千 葉 貴 世
取締役副社長	田 中 延 幸	取 締 役	高 橋 幸 三
常務取締役	富 永 真 市	取 締 役	桑 名 隆
常務取締役	柳 谷 彰 彦	取 締 役	黒 石 忍
常務取締役	西 濱 渉	取 締 役	大 前 浩 三
常務取締役	榮 山 博 之	取締役(社外)	加 納 駿 亮
取 締 役	大 井 茂 博	常 任 監 査 役	木 村 弘 明
取 締 役	柳 本 勝	監 査 役	吉 田 敏 彦
取 締 役	新 野 員 也	監 査 役(社外)	大 江 克 明
取 締 役	永 野 和 彦	監 査 役(社外)	岩 崎 正 樹

## 重要な子会社

平成27年9月30日現在

### 鋼 材 事 業

#### 連結子会社

- 陽鋼物産株式会社  
(特殊鋼製品、製鋼原料、諸資材などの売買)
- サントク精研株式会社  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山特工業株式会社  
(特殊鋼の加工、機械設備のメンテナンス)
- 山特テクノス株式会社  
(特殊鋼の加工)
- SKJ Metal Industries Co., Ltd.  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- P.T. SANYO SPECIAL STEEL INDONESIA  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山陽特殊鋼貿易(上海)有限公司  
(中国における特殊鋼製品の販売等に関わる業務)
- Sanyo Special Steel India Pvt. Ltd.  
(インドにおける特殊鋼製品の販売等に関わる業務)

#### 持分法適用関連会社

- Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.  
(特殊鋼製品の製造・販売)

### 素 形 材 事 業

#### 連結子会社

- サントクテック株式会社  
(特殊鋼製品の加工)
- SANYO SPECIAL STEEL U.S.A., INC.  
(特殊鋼製品などの輸入・販売)
- 寧波山陽特殊鋼製品有限公司  
(特殊鋼製品の加工・販売)
- Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.  
(特殊鋼製品の加工・販売)

#### 持分法適用関連会社

- Advanced Green Components, LLC  
(特殊鋼製品の加工)

### そ の 他

#### 連結子会社

- サントクコンピュータサービス株式会社  
(情報システム構築・運用・コンサルティング)
- サントク保障サービス株式会社  
(警備業、施設管理等のサービス業務)

## 株式の状況

平成27年9月30日現在

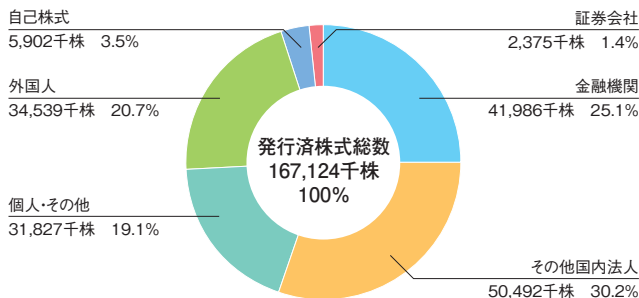
発行可能株式総数	474,392,000株
発行済株式総数	167,124,036株
株主数	13,772名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
新日鐵住金株式会社	24,256	15.13
山陽特殊製鋼株式会社	10,225	6.38
日本精工株式会社	7,470	4.66
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	7,450	4.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,805	3.62
株式会社三井住友銀行	5,696	3.55
株式会社みずほ銀行	3,642	2.27
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,108	1.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,849	1.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,831	1.77

(注)当社は、自己株式5,902千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 株式の所有者別分布状況



## 配当方針

当社は、経営基盤の強化に努めるとともに配当可能利益を拡大することにより、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としております。配当につきましては、期間業績に応じた利益配分を基本としつつ、配当性向および「企業価値向上」のための投資等への所要資金などを勘案して、株主の皆様のご期待に応えたいと考えております。連結業績に応じた利益配分の指標としては連結配当性向20～30%程度を基準とし、第2四半期末および期末の剰余金の配当を実施することといたします。

### 第104期中間配当

1株当たり中間配当金	:	6円
配当性向	:	24.5%

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
同基準日	3月31日
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告 【アドレス】 <a href="http://www.sanyo-steel.co.jp/">http://www.sanyo-steel.co.jp/</a> 事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	【フリーダイヤル】0120-782-031
上場証券取引所	東京(証券コード 5481)

### 単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社には、1,000株未満の株式(単元未満株式)の買増・買取請求制度がございます。  
詳細は、上記お問合せ先までお尋ねください。



**SANYO  
SPECIAL  
STEEL**